

一般質問及び委員会質問の答弁の要旨

質問者：区民と共に歩む会 渡部 恵子



一般質問

人口問題から発生する今後の課題を問う

渡部 国立社会保障・人口問題研究所の推計によると、2010年国勢調査に比べ、2040年頃の東京では人口減少が6.5%。高齢者数は53・7%に急増し、人口構造の急速な悪化が懸念される。急速な少子高齢化、人口減少社会を見据え、今からできることは行政負担を軽減しながらも、区民サービスを維持する取り組みの構築であると考えている。「share(シェア)金沢」や「藤沢サステナブルシティ」など、各地域で「支え合う互助の仕組み」が構築され始める中、地域自治力強化に向けた、今後の人口推計を基にした地域コミュニティ構築について考えを。

区長 本区の人口は平成36年に20万人を超え、平成40年代まで増加傾向が続くと推計している。今後も転入者が増加する中、地域活動に消極的な方もおられると考えられるが、今後は、地域手づくりイベント助成など住民同士の交流を進める取り組みを更に充実させるとともに、中央区基本構想審議会で議論されている多様な絆が融合した「プロアクティブ・コミュニティ」を推進していくことが重要である。

また、選手村跡に整備される住宅は、短期間に多くの方の転入により、地域コミュニティそのものをどう育成するのが大きな課題である。区としては、相談窓口やアドバイザー派遣、地域の担い手養成塾など、様々な支援策を検討していく。



わたなべ恵子の一言 人口増加率東京一の中央区。豊かな財源に支えられながら人口増に伴う行政需要が増す中、区民の高齢化を見据え支え合う地域づくりが急務です。

改正障がい者総合支援法の意義を問う

渡部 医療的ケア児は、新生児医療の発達により増加傾向にある。法改正を受け、他区では障害児専用の保育園を誘致する動きがある。本区は、絶対数が少ないとはいえ、未就学の医療的ケア児が存在しているが、(1)知的に遅れが無い医療的ケア児の未就学教育、保育のあり方についての方針は。(2)重症心身障害児の親が働ける保育環境整備は。(3)親の急病などの際の医療的ケア児の緊急預かり先の確保について、区の方向性は。

区長 (1)(2)(3)医療的ケアの必要な子どもの保育や緊急預かり先については、障害の内容や程度等、個々の状態に応じた健康管理に特別な配慮が必要であり、特に乳幼児は、専門的なケア体制の確保や、ノウハウのある事業者の確保が極めて困難な状況にある。今後は、法改正の趣旨に基づき、医療的ケアの必要な子どもがニーズに応じた支援を円滑に受けられるよう、平成30年度開設予定の「子ども発達支援センター」が中心となり、都の療育センターや訪問看護事業所、病院、在宅療養支援診療所などの関係機関と協議・連携する体制を整備し、対応策を検討していく。



わたなべ恵子の一言 新年度予算案に、子育て支援策として、呼吸器系疾患が無い医療的ケア児の居宅訪問保育事業の予算が付きました!

委員会質問

〈区民文京委員会〉

子どもたちの読み解く力の向上のために

渡部 数年前から、子ども達の読み解く力が課題になっているという結果の御報告をいただいております。資料を見ますと、社会と理科が平均値を下回り、暗記事項が弱いのかなというところもあるのですが、理数教育に力を入れている中で、理科の点数が悪いこと、あるいは読み解く力はどういふふうになっているのかということ、一つお伺いさせていただきたい。それから、予習・復習を半数の児童が行っていないというのは、2つの試験、1番の全国学力・学習状況調査と学習力サポートテストで言われております。にもかかわらず、数値が平均値より上ということは、勉強している子供たちの層が上位の点数をとっている、半数の予習・復習をしていない子供たちは当然成績に響いてくるので、点数をとっていない。ここでお伺いしたいのは、結局、勉強しない子としている子との格差があって、している子のほうが点数を一生懸命とっている、平均値が上がっているのかなと考えているんですけども、そのあたりをどのように分析しているか教えてください。

指導室長 まず、理科が低いということがここ数年続いておりまして、これについては、教育委員会としても真摯に受けとめているところでございます。毎年のように分析しているけれども、まだ改善されないということなので、分析の仕方がいけないのか、改善の取り組みがいけないのかというような視点で、この後、さらに取り組みを進めていきたいと思っております。読み解く力ということは、全国的に苦手な傾向があるというのは出ておるんですが、中央区は、苦手は苦手なんですけれども、全国比較させていただきますと、平均を上回っているということです。ただ、まだ得意とは言えませんので、引き続き取り組んでいきたいと思っております。予習・復習のところでございますが、この後、分布等をきちんと分析していかなくてはいけないんですけども、二極化しているというようなところは、現段階の分析のところでは出ておりませんので、点数の高いお子さんが低いお子さんを引き上げているというようなことではないと思います。中央区は全体的に高い傾向にあるのは間違いありませんけれども、ただし、当然、分布図にすれば、低いお子さんたちもいますので、その子たちの引き上げというのはもう一つの課題と捉えております。

わたなべ恵子の一言 中央区は塾に通っている子どもの割合が多いのですが、所得格差が教育格差に繋がらない様、子どもたちの平均的な学力の底上げが重要です。

わたなべ恵子活動スナップ



〈子ども子育て・高齢者対策特別委員会〉

児童相談所と子ども家庭支援センターの連携

渡部 子育て支援課、子ども家庭支援センターは連携しているはずですので、区内で児童相談所に行くケースは、よく実態を御存じだと思います。現在、中央区内で児相に行くケースの実態についてお知らせください。

子供家庭支援センター所長 児相が直接かかわった新規のケースは、平成26年は112件、平成27年は193件です。こちらは区と連携しているものだけではなく、直接児童相談所のほうに通告等があったものも含めてという形になります。

渡部 この中で深刻なケースみたいなことはあったのか、どのように把握されているのか、もしわかれば教えてください。

子供家庭支援センター所長 こちらは、区と連携してというケースなんですけど、認可外の保育園のほうから連絡がありまして、お子さんの背中に傷があるというところから、最終的には児童相談所のほうで一時保護されて、今、里親さんのほうでやっているところはあるんですけども、親御さん等は虐待を認めずというところで、結構長いケースであります。そういった形で、区だけではなく児童相談所と連携しながら行っているところでございます。

渡部 本当にそういうケースが本区でもあるんだということを教えていただきまして、ありがとうございます。今後、8年後の開設に向かっていくわけですが、児童相談所と子ども家庭支援センターが1つの施設として、体制として整っていくときには、やはりこういったことが早期に発見できるというふうには私自身は思っているんですけども、今後のメリットをどのようにお考えか教えてください。

子供家庭支援センター所長 資料にも書いてありますが、本区の方考え方ということで、今現在は児童相談所が新宿区のほうにございまして、実際、児童福祉司の方も非常にお忙しく、なかなか連絡がとれないということも多々あるんですけども、それが今回、区のほうで児童相談所を設置するというのであれば、すぐに対応ができるというふうには考えております。そこについては、やはり人材の確保というのが大きな課題にはなりますが、その部分で早期に対応ができるのではないかと考えております。

わたなべ恵子の一言 2016年の児童福祉法の改正により、児童虐待発生時の区や児童相談所(2026年中央区内に開設)の体制や権限が強化されました。

わたなべ恵子の活動報告

- 11月(霜月)**
- 1日 (区議会) 議会運営委員会
 - 4日 (区議会) 全員協議会
 - 5日 (区内) 中央小学校開校90周年記念式典出席
 - 6日 (区内) クリーンデー参加
 - 7日 (区議会) 企画総務委員会
 - 8日 (区議会) 環境建設委員会
 - 9日 (区議会) 福祉保健委員会
 - 10日 (区内) 区民文京委員会視察
 - 14日 (区議会) 子ども子育て・高齢者対策特別委員会
 - 15日 (区内) 菜地などまちづくり及び地域活性化対策特別委員会
 - 16日 (区議会) 防災対策特別委員会
 - 17日 (都内) 杉並区の障がい児保育視察
 - 19日 (区内) 月島第一小学校110周年式典出席
 - 21日 (区議会) 一般質問
 - 22日 (区議会) 本会議初日
 - 24日 (区議会) 本会議2日目
 - 25日 (区議会) 一般質問、本会議3日目
 - 26日 (都内) 映画「太陽の旗」府中にて鑑賞
 - 27日 (区内) 茶話会に参加
 - 28日 (区議会) 区民文京委員会付託委員会
 - 29日 (都内) 「太陽の旗」を区民を引率して鑑賞
 - 30日 (区議会) 区議会最終日
- 杉並区の障がい児保育「ハレン」を視察しました
- 月島第一小学校で頂いた素敵な輸入メッセージ
- ママたち主催の茶話会に参加しました

- 12月(師走)**
- 3日 (区内) 菜地6丁目町会老人部食卓会
 - 4日 (区内) クリーンデー出席
 - 7日 (区内) 福祉センター
 - 8日 (区議会) 企画総務委員会
 - 9日 (区議会) 区民文京委員会
 - 12日 (区議会) 福祉保健委員会
 - 13日 (区議会) 環境建設委員会
 - 14日 (区内) 区民相談
 - 15日 (区内) 歳末特別警備実施
 - 18日 (区内) 歳末特別警備実施
 - 19日 (区内) 東京都議政務会及び研修会
 - 20日 (都内) 品川区にネフボラ視察
 - 21日 (都内) 葛飾区に産後ケア視察
 - 22日 (区議会) 全員協議会
 - 25日 (都内) 中野区に産後ケア視察
 - 26日 (都内) 荒井さとし区議団議員による産後ケアの実態レポートを届ける
 - 27日 (区内) 菜地魚河岸にて家業(中加)の手伝い
 - 31日
- 品川区でネフボラの視察に参加しました
- 中野区の産後ケア視察を行いました
- 荒井さとし区議団議員を訪問し医療的ケア児の実態レポートを届きました